

シドニー視察旅行記（5）

世界自然遺産ブルー・マウンティンズを訪ねて

NPO 法人 SLIM ジャパン 理事長 有岡 正樹



4泊5日というか、6泊5日というか、いずれにしても実質5日間の海外旅行である。ホテル4泊、往復機中2泊のタイトスケジュールであった。こんな旅が可能だったのは、日本とオーストラリアの時差が夏時間ででもわずか2時間という地理的な背景がある。シドニー～羽田間は約9時間、我々の年代にとっては東京～大阪間を夜行列車で往来したことを思い起こせば、それだけのことである。そういえば後の旅行記に出てくる KPMG の Dr Ruth Laurence 女史と日本で会った際、東京に1泊だけしてシドニーに帰ると話していた。9時間も離れた日本へわずか1泊2日というビジネススタイルに、改めてその強かさに敬意を払ったのを思い出す。

さて、余談が長くなったが今日は3日目、いわば6泊5日のシドニー視察旅行の中日でしかも日曜日、シドニー北東のワイナリーに行くか、北西の世界自然遺産ブルー・マウンティンズに行くか迷った末、後者に決定した。その一つの理由としては、昨日いわば東名高速道路に当たる Hume Highway を往復ドライブして首都都市キャンベラを訪れたので、今日は鉄道を利用してシドニー郊外北西の山岳地帯ブルーマウンテンを旅してみようとした、ということがある。

私自身30年前の駐在中も含め何回か訪れたことはあるが、いずれも乗用車を利用して、鉄道では始めてであるので、ARaP 社秘書の Alisa という女性が案内してくれることになった。7時半にホテルロビーに集合して、徒歩10分のセントラルステーションで彼女と待ち合わせ、列車でブルーマウンテン行の広域シドニー鉄道列車に乗り込んだ。

シドニーから距離的には約100km、高低差約1,000mである。2000年のオリンピック会場が広がっていたシドニー西部の主要都市を通って、後半はなだらかな0.2%程度の上り勾配を進む。約2時間半、2階建て列車の上部からそこかしこに咲き誇るジャカラングの花を楽しみながらの旅である。運賃は、初日に配布した20A\$のオパールカードではとても足りない心配していたが、土日の公共交通機関は何に乗っても、どこまで行っても1日2.6A\$ということで法外に安い旅となった。

パラマタ、ブラックタウン、ペンリスといった周辺都市を通って、最寄り駅カトゥーンバ(Katoomba)という駅で降りることになる。日本であれば特急や快速といった仕分けもあって1時間半は掛からないが、パラマタ以降はすべての駅に停車し、各駅間の走行速度もゆっくりしたものである。それだけに車窓からの景色は雄大で、中でも印象に残っているのは、Emu Plains という駅のすぐ手前を流れる Nepean 川の河岸に見事にジャカラングが咲き誇った一帯が目に入ったときである。これは一見に値するとの思いで、帰路時間があれば途中下車するというのもあり得るので検討して欲しいと Alisa 申し入れていたが、結果的には叶わなかった。そこを過ぎると列車はひたすら斜面を上っていくが、カトゥーンバの街では、シドニーとは8℃ほどの気温差がある。途中からジャカラングの花を見かけなくなるのはそのせいである。

カトゥーンバの駅を降りて巡回バスに乗るべく20分ほど並んで切符を買うが、何と44A\$もする。これに後述のケーブルカー33A\$を加えると77A\$/人の乗車賃となる。ここまでの旅費が大割引なので喜んでいたら、エビで鯛を釣られた思いがぬぐえない。広い地域で29カ所もの観光拠点を巡回するバスだけ



名勝 ブルーマウンテンの三姉妹



広域シドニー鉄道2階建て列車

ら、いくつも場所で乗り降りしそこからブッシュを歩いたり、という人達のものであって、我々のようにバスを降りほんの2〜30分そこで写真を撮って、という日本人流の旅にはそぐわないということなのであろう。

広大に広がる独特の地形の山々を背景に、冒頭写真の三姉妹やエコポイントなどと名付けられた見どころ、そして急斜面を直滑降のように滑り降りるケーブルカーで谷に下りて、右写真のような新緑の木道を散策した。再び観光拠点巡回路に戻っていくつかの展示場などにも寄って、途中 Alisa が予約しておいてくれたそれなりのレストラン SOLITARY (上右写真) で昼食(ついついビールにワインということになってこれに一番時間を費やす)を取ったりするだけで、予定の時間を2時間もオーバーすることになった。Emu Plains に寄るところか、予定していた Lindfield まで足を延ばして Killara のジャカラング並木を見ようなどというのは、まさに夢のまた夢になってしまう。



広域観光拠点巡回バス

橋爪氏とチャツウッドで夕食に中華料理でもと、6時半に駅前で見送りにしていただいたので、いろいろ世話になった Alisa とは途中の Strathfield で別れた。中学と小学校の子供があると知って、日曜日に付き合



わせて申し訳ないことをしたのかも知れない。チャツウッドにしたのは今回何かと世話になった橋爪氏がそこに住んでいることもあって時間調整がしやすいので、夕食でも共にしようということになった。

彼がよく来るという中華料理店で円卓を囲んで、右写真に示すような大きな北京ダックなどの料理に、近くのボトルショップまでで買いに行った紹興酒などを楽しみながら時を過ごした。その後近くの Coles ショッピングセンターをのぞいたりして、電車でホテルに戻ったのは今日もまた10時を回っていた。



余談になるが、上述の Emu Plains のジャカラングについては、少し余分に滞在した後日訪れる機会があった。それぞれの大きな木々はまさに満開で、その下には今散ったばかりと見紛う花びらによる薄紫の絨毯が広がっている。あいにくの曇り空で残念ではあったが、その美しさは想像いただけると思う。

この記を書き終えた3月末の今日、武蔵野の公園を散策した。散り初めの桜の美しさとその圧倒的なボリュームは、シドニーのジャカラングの比ではないと再認したが、もう少し長く咲いてくれたらと、その散り急ぎがはやはりはかない。



Emu Plains の河岸に咲くジャカラング

